

■豊科南小学校の環境美化活動が環境大臣賞を受賞

地域住民と拾ヶ堰の清掃を行う豊科南小学校の取り組みが、「第20回環境美化教育優良校等表彰事業」で最優秀校に選ばれ、環境大臣賞を受賞しました。この表彰事業は、独創的な環境美化教育に継続的かつ熱心に取り組む、地域社会と連携しながら環境美化に寄与する小・中学校

を表彰するもので、全国から推薦のあった35校の中から最優秀校（全4校）に選ばれました。同校は学校内ビオトープの取水元である拾ヶ堰を止水し、堰中に入って清掃を行う「拾ヶ堰クリーン大作戦」を2000年に開始。児童の活動を見た地域住民や団体等も徐々に参加する

ようになり、昨年は総勢700人が参加する活動となりました。この地域を巻き込む環境美化活動等が高く評価されました。児童会長の鈴木健斗さんは「20年続く活動が評価され、地球の環境を良くしていることが実感できてうれしい」と受賞を喜んでいました。



宮澤市長（右から2人目）に受賞報告をする児童

■市全域にヘリポート拠点が整う

市と株式会社デンソーエアクルは2月3日、災害時に同社敷地の一部をヘリポートとして活用することを定めた災害協定を締結しました。市は現在、災害対策用拠点ヘリポートを6カ所と災害時ヘリポートを6カ所指定しています。市の北西部にはヘリポート



握手を交わす西山代表取締役社長（左）と宮澤市長（右）

がない状態でした。今回の協定締結により、市のほぼ全域への緊急輸送体制が整いました。宮澤市長は「地震等が発生すると、場所によっては陸路が使えなくなる可能性もある。緊急時における負傷者の搬送や物資の輸送などの面からも、今回の協定締結は大変心強い」と話

しました。デンソーエアクルの西山代表取締役社長は「毎年のように災害が発生している今、地域の継続なくして会社の継続はない。これからは企業も資源を持ち寄り、行政と協力した体制を築いていくことが重要ではないか」と話しました。

市政トピックス

美味しいコーヒーの淹れ方学ぶ

1/23 三郷公民館コーヒー教室



ハンドドリップで自分好みのコーヒーを淹れるコーヒー教室が三郷公民館で開かれました。同教室は、定員の倍の応募がある人気講座です。講師の三澤さんは「コーヒーの味は淹れるお湯の温度と注ぎ方だけでも全然違う。オススメの淹れ方は、浅煎りを高温短時間、深煎りは低温でじっくりすることで、豆の一番美味しいところを抽出できる」と話します。

参加者は三澤さんの実演を見た後、自らコーヒーを淹れ、周りの参加者と飲み比べて楽しんでいました。自宅でもコーヒーを淹れるという雄門祐次さん（穂高）は「同じ豆・同じ量なのに淹れる人によってこんなに味が変わるのか」と驚いた様子で話していました。

有限会社三澤珈琲 常務取締役 三澤優治さん



心の底にあるもの刺激する映画を

2/1 熊井明子講演会・熊井啓監督作品「深い河」上映会

安曇野市出身で名誉市民である社会派映画監督・(故)熊井啓さんの「深い河」の上映会が豊科交流学習センター「さばう」で行われました。予想を上回る応募者数があり、急きょ上映回数を増やして開催されるなど大盛況となりました。

午後の上映前には妻の熊井明子さんによる講演会が行われ、原作者の遠藤周作と熊井監督の関係や、モントリオール映画祭での話などを語りました。明子さんは「どんな人でも心の底には人のためになりたい、良いことをしたいという想いがある。それを刺激する映画を作りたいと熊井はいつも話していた」と映画「深い河」に込められた監督の想いを話しました。



令和に伝承 安曇野の農業と食

1/15 安曇野の農業とともに生きる女性たちの交流会

安曇野の農業とともに生きる女性たちが、世代を超えて集い、食育、食文化継承を進めることを目的に交流会が開かれました。当日は、南安曇農業高校の生徒や県農村生活マイスター協会員ら約40人が参加。調理のコツや昔の食文化などについて話しながら、そば団子汁や田作りなどの郷土料理を作りました。

また、初代県マイスター協会長を務めた山田安子さんの講演も行われ、生活改善グループ活動を礎に女性の地位向上や農村女性の起業活動のために奔走した経験などから「何かを変えるには一歩踏み出さないと何も始まらない。踏み出したらどう努力し、進めるのかを創造していくことが大切」と令和に生かしていきたいことを話しました。

